

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		部課コード	091200	2998-5300
事業コード	再資源化推進事業(東部クリーンセンター)	担当部課	東部クリーンセンター施設課	
091202			グループ	施設グループ
開始年度 平成 15 年度		終了年度	年度	

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律
	関連・類似事業	再資源化推進事業(西部クリーンセンター)			
	総合計画の体系	章 環境・自然	節 廃棄物の減量・資源の循環	基本方針	ごみの減量と資源化の推進
事業開始の背景	平成15年度より稼働を開始したりサイクルプラザでは破砕ゴミ類・粗大ごみの破砕分別資源化、容器包装プラスチック類及びびん・かんの資源化の適正処理を行っています。資源化量を増やし、最終処分量を減らすことにより環境への負荷の低減をはかり、資源循環型社会をめざす施設として位置づけられる。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	廃棄物を資源化することにより、廃棄物の排出を抑制し生活環境の保全を目的とする。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	14,252 t
	施設に搬入される「プラスチック」「びん・かん・スプレー缶」「破砕ゴミ類・粗大ごみ」一般持ち込みごみ等。			平成 27 年度	13,355 t
事業の具体的な内容及び実施方法					
一般家庭から収集された「プラスチック」「びん・かんスプレー缶」「破砕ゴミ類・粗大ごみ」は、各々ビッドに一時的に保管されクレーンにより処理ライン供給コンベヤホッパに投入され各処理先に運ばれる。「プラスチック」「びん・かんスプレー缶」は手選別及び磁気式機械選別により選別され再資源化される。「破砕ゴミ類・粗大ごみ」は破砕機により細かく破砕された後、金属類(鉄、アルミ)は磁気式機械選別され再資源化される。処理の過程で発生した廃プラスチック類は可燃物ビッドに運ばれ焼却して熱回収される。搬入された小型家電製品については専用ヤードで選別され、資源化される。上記、処理を経て、アルミ缶・スチール缶・鉄類、プラスチック製容器包装、カレット(白色、茶色)、ペットボトルなど資源化している。					

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)	
予算現額		392,024		333,971		312,245	
決算(見込み含む)		405,270		326,506			
(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	( 人)	( 1.30 人)	( 人)	( 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
正規職員人件費		3.45 人	30,087	5.05 人	43,733		
事業費合計		435,357		370,239			
財源内訳	一般財源	435,357		370,239			
	国・県支出金						
	その他( )						

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
				活動実績	ごみの搬入量	ごみ搬入量(燃やせるごみ以外の搬入ごみ全量)	t
	再資源化量	資源物搬出量	t	6,364	6,127	6,622	6,473

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標				
				成果指標	資源化率	資源物搬出量 ÷ ごみ搬入量	%	目標値	45	45	45
							実績	45	46	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	102	どちらかをチェックしてください				

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	一般持ち込みでクリーンセンターに持込まれたペットボトルについて、(財)容器包装リサイクル協会の分別基準に適合する20lについて再商品化を申し込み、あらたな資源化先とした。	

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 効率化	理由	さらなる資源化を模索する。また、経年劣化による修繕費用などの増大が見込まれることから、経費節減へ向け、点検結果などによる修繕の内容についての精査を実施する。
	次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	処理施設の点検・整備の充実と効率の良い施設運営を図る。施設の経年劣化による対策を講じる必要がある。
	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
備	施設の経年劣化による補修費用などの維持管理費の増大が見込まれることから、効率的な運営管理や改善事業を推進していくとともに、ストックマネジメント推進事業において、基幹的設備改良工事を行い、長期包括管理運営など施設の運営に関することを検討し、総合的な見直しを図って行く。		ストックマネジメント推進事業において、基幹的設備改良工事・長期包括管理運営など、施設の性能の維持や効率的な施設運営を検討し実施して行く。	
評価日	H28.8.17	評価者職氏名	課長 吉岡 平平	

環境影響	有益な環境影響	2-2リユース・リサイクルの推進	2-3廃棄物の適正処理	有害な環境影響を及ぼす原因活動	電気・機械・作業車の使用	規制を受ける環境法令等	有
						緊急事態	有